

令和6年度第1回健康いわき推進会議
議事録

保健福祉部健康づくり推進課

令和6年度第1回健康いわき推進会議議事録

1 日 時 令和6年11月28日(木) 18時30分から20時00分

2 場 所 いわき市役所 第8会議室

3 出席者

(1) 委員 (18人)

委員	内田 広之	委員	湯澤 良一
委員	齊藤 道也	委員	羽隅 玄明
委員	小野 栄重(代理：富岡 誠)	委員	上遠野 恭子
委員	菊池 雄士	委員	都澤 京子
委員	中山 哲志	委員	荒川 正勝
委員	高萩 周作	委員	篠原 清美
委員	秋元 英典	委員	廣瀬 敬彦(代理：吉田 信治)
委員	赤津 雅美	委員	野木 和洋
委員	濱 愛子	委員	千葉 光平

(2) 事務局 (11人)

保健福祉部	部長	佐々木 篤
	次長(兼)健康づくり・医療担当	阿部 通
保健福祉部健康づくり推進課	課長	鈴木 英規
	主幹兼課長補佐	藤館 克共
	課長補佐兼統括保健技師	渡邊 香織
	健康政策係 係長	高橋 一彦
	生活習慣改善係 係長	鈴木 秀明
保健福祉部地域医療課	課長	馬目 英幸
保健福祉部地域包括ケア推進課	課長	松川 司
保健所	所長	新家 利一
保健所地域保健課	課長	小野 勝己

4 議 事

- (1) 第23回健康いわき21推進市民大会について
- (2) 令和6年度第1回健康推進企業普及部会の開催結果について
- (3) 本市の健康づくり事業について

※ 議事に先立ち、本日の議事録署名人について、濱委員と上遠野委員が指名された。

5 会議の概要

(1) 第23回健康いわき21推進市民大会について

発言者	内容
	【事務局からの説明に対し、委員からの質問等は無かった。】

(2) ~ (3)について、事務局から一括で説明を行い、質疑応答を行った。

発言者	内容
事務局	<p>(2)令和6年度第1回健康推進企業普及部会の開催結果について</p> <p>開催日は、10月10日（木）で、委員16名中11名の方にご出席いただきました。</p> <p>議事は全部で3件で、1件目は、今年3月に策定した「健康いわき21（第三次）」の策定後の初めての部会でしたので、計画の概要を説明させていただきました。</p> <p>2件目は、「令和6年度健康づくり事業について」と題しまして、「健康いわき21（第三次）」における5つの「いわき市健康長寿重点プロジェクト」の位置付け事業の実施状況について説明させていただきました。</p> <p>3件目は、意見交換といたしまして、2つのテーマを設定して、ご意見やご提案をいただきました。</p> <p>1つ目のテーマといたしましては、現在、市におきまして、重点プロジェクトとして実施しております、事業の課題についてです。壮年期の健康づくりや健康経営の推進を図るため、民間企業が提供する運動や食事に関するプログラムを、市内企業の従業員を対象に、3か月間実施しておりますが、期間が長いことが要因となり、3つの課題が生じておりますことから、課題解消を含めた健康経営推進に向けたご意見やご提案をいただきました。</p> <p>3つの課題につきましては、1つ目は、参加企業が思うように集まらないこと。2つ目は、プログラムの途中でリタイヤする方、参加しなくなる方が散見されること。3つ目は、期間が長くなることから、費用が高くなり、募集可能な人数が少ないことです。</p> <p>これらの課題に対しまして、委員の皆様からは、実施内容や期間に関してハードルを下げ、まずは従業員の健康づくりに対する意識付けやきっかけづくりを目的に実施してみてもどうかというご意見や、参加率の向上や目標の達成に向けては、ノベルティがあるとやる気を起こすのではないかというご意</p>

見、また、誰もが手軽に実施ができて分かりやすい取り組みを実施してみてはどうかといったご意見をいただきました。

2つ目のテーマといたしましては、連携可能な取り組みについてです。具体的には、重点プロジェクトは5つございますが、このプロジェクトの取り組みに関し、現在、委員の方々の事業所で実施されている取り組みで、今後、プロジェクトと連携して実施可能な取り組みの有無等について、ご発言をいただきました。

まず、明治安田生命様からは、現在、実施されている取り組みについて、ご発言いただきました。内容としては、健康への意識付けを目的に、血管年齢や推定野菜摂取量を測定する健康チェックを、市と連携し実施されているものです。

セブン-イレブン・ジャパン様からは、他地域での取り組みについてご発言いただきました。内容としては、店舗を通じた消費者への啓発を実施されているものです。

マルト様からは、現在、実施されている取り組みについて、ご発言いただきました。内容としては、マルト様のプロジェクトと本市のひとしおプロジェクトとがコラボした、減塩弁当の企画・開発や、市内各店舗における健康測定会を、市と連携し実施されているものです。

協会けんぽ様からは、市内小学校5・6年生向けの、日常生活で留意してほしいポイントをまとめたチラシを作成し、冬休み前に、市と連携して配布される旨、ご発言をいただきました。

次に、「今後の対応」についてです。委員の皆様からいただきました、ご意見やご提案を参考に、市といたしましては、令和7年度のプログラムの内容を、企業の健康経営に対する認知度や意識の段階別に構成するとともに、実施期間が3か月の長期プログラムの一部を見直したいと考えております。

(3)本市の健康づくり事業について

皆様のご協力により、今年3月に、健康増進法に基づく健康増進計画である「健康いわき21（第三次）」を策定いたしました。

主な留意点につきましては、1つ目として、国県のデータと比較できるよう、客観的な評価ができる8つの「重点指標」を設定しています。

2つ目として、「重点指標」と関連性が高い5つの施策「重点プロジェクト」を設定しています。

3つ目として、市民の行動変容につなげる分かりやすい計画とすることとして、ライフコース別、具体的には、乳幼児期、学童期、青年期、壮年期、高齢期の5つのステージと、女性に

ついでにアクションプラン、取組みを整理し、啓発チラシを作成しています。

また、計画の着実な推進を図るため、毎年、本「健康いわき推進会議」において、重点指標の現状値の把握や、重点プロジェクトの進捗状況等による評価検証を行うこととしておりますことから、本日、お集まりいただいたところであります。

本日は、6ページの事業全体概要の中から、特に重点的に実施する施策である5つの「いわき市健康長寿重点プロジェクト」の、令和6年度の具体的な取組状況について説明させていただきます。

まず、1つ目の重点プロジェクト「減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」」についてです。

主な取組1の「減塩商品・減塩レシピの開発・提供」につきましては、マルト様と連携した塩分摂取に配慮したお弁当の開発・販売を令和4年度から実施しております。毎月17日の「いわきひとしおの日」にマルト様の各店舗で販売しています。

次に、今年の10月18日（金）から20日（日）に平中央公園で開催された喰酒祭では、夜明け市場のKINKA様と、市役所内の管理栄養士が集結した「ひとしおLab」が連携し、減塩メニューである「ひとしお唐揚げ」と「トマトの酸辣湯」を提供し、多くの方に口にさせていただくことができました。

次に、ひとしおLabにおきましては、これまで13品のレシピを開発していますが、今年度は、トマトを使用した新レシピ等を開発中です。レシピのリーフレットは、マルト様の店舗やイベント等で配布し、減塩食の普及に努めています。

主な取組2の「減塩推奨デー「いわきひとしおの日」の普及促進」につきましては、毎月17日の「いわきひとしおの日」をPRするため、のぼり旗の掲出やマルト様の折り込みチラシに掲載しています。また、小・中学校の学校給食での減塩献立を提供しています。今年度は、5月、6月に、塩こうじスープを提供しました。

主な取組3の「官民連携による減塩企画の実施」につきましては、マルト様とは、減塩弁当の他、市内店舗におきまして、血圧や血管年齢等を測る「健康測定会」などを実施しています。

イオンモールいわき小名浜様とは、催事場所であるマリナーコートにおいて、健康増進に関する啓発活動や「健康測定会」を実施しています。

主な取組4の「減塩に関する情報発信等」につきましては、今年度の新たな取組として、11月25日発売のタウンマガジン

いわき 12 月号に掲載したことや、今後は、いわき駅前の大型ビジョンによる情報発信などを行う予定です。

次に、2つ目の重点プロジェクト「スポーツの力を活用した運動習慣づくりの推進」についてです。

主な取組1の「いわきFCと連携した健康づくり」につきましては、IoT機器等を活用した、いわきFCのコーチ等による運動習慣プログラム等を行い、運動習慣づくりによる市民の生活習慣病の予防・改善等につなげることを目的に実施しています。

具体的な取組内容につきましては、運動習慣プログラムとして、ダイエットとヨガの2コースを9月から11月にかけて実施しました。

また、保健指導サポートプログラムとしては、9月の健康増進普及月間に合わせた運動教室や、11月には女性の健康づくり教室などを実施しています。

また、ホームゲームでの健康づくりプログラムとして、6月に、試合前フィールドで、未就学児を対象に、かけっこや体操等を実施しました。

主な取組3の「スポーツイベント等における健康づくり企画」につきましては、本市と連携協定を締結する明治安田生命様といわきスポーツクラブ様の3者が、連携した健康づくり事業を行い、市民の健康意識の向上や行動変容につなげることを目的に実施しています。本事業は、令和4年度の健康推進企業普及部会により提案された企画となっており、具体的には、ホームゲーム開催時に、明治安田生命のブースで、健康チェックに参加したり、湯本駅等からスタジアムまでウォーキングをすると、ポイントが付与されます。そのポイントをオリジナルパスポートに記録して、年間通算200ポイント以上の獲得者を対象にホームゲーム最終戦に抽選会を実施し、特典を付与する事業となっています。

今年度の抽選会は、11月10日(日)の最終戦に行いました。1等の方には、いわきFC選手のサイン入りユニフォームを10着用意し、実施したところです。

次に、3つ目の重点プロジェクト「生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化」についてです。

主な取組1の「官民連携による禁煙・受動喫煙防止対策の強化」につきましては、医師会やTobacco-freeふくしまと連携し、様々な活動を実施しております。

具体的には、世界禁煙デー・禁煙週間におけるイエローグリーンキャンペーンの実施として、5月25日（土）には、スパリゾートハワイアンズやマルト湯本店、また、6月16日（日）には、「イエローグリーンスペシャルマッチ」として開催された、いわきFCホーム戦において、禁煙や受動喫煙防止の啓発を行いました。

また、妊婦や小学生、市役所の全職員に対しては、イエローグリーンリボンを配布し、啓発活動を行っています。

また、禁煙週間の期間中は、市役所本庁舎、総合保健福祉センター、医療センターを、イエローグリーンにライトアップをしました。

主な取組2の「医師等による小・中学生向け健康教育授業の実施」については、医師をはじめ、医療介護の専門職の方々が、小・中学校に訪問し、認知症や医療介護、がん、タバコのことなどの内容について授業を行う、いわき市版「いのちの授業」を、今年度も11月から実施しています。現時点では、記載の7校で実施中、もしくは実施予定であります。

主な取組3の「健康への意識を高めるセミナー・イベント等の開催」については、10月19日（土）に、いわき市医師会主催による、10月のピンクリボン月間における市民公開講座を実施しています。

また、10月26日（土）には、いわき市医師会との共催による特定健診受診勧奨についての市民公開講座を開催しています。

また、市医師会及び日本ベーリンガーインゲルハイムとの連携による健診受診勧奨に関する取組みを実施しているほか、かかりつけ医から通院患者への受診勧奨も実施しています。

また、明治安田生命との連携による、市施設における健康チェックのほか、各地区保健福祉センターにおきましては、9月の健康増進普及月間における啓発キャンペーンを、マルトやヨークベニマルの店舗等、11施設で実施しています。

また、協会けんぽにおきましては、健診受診勧奨の動画を作成し、いわき駅前の大型ビジョン等で放映されております。

主な取組4の「中山間地域等におけるけんしん受診環境等の充実」については、11月16日（土）に、市病院協議会との共催による、中山間地における健康講座「知って得する！！健康管理術」を開催しております。

また、中山間地域では、公共施設等における「集団けんしん」を実施しており、三和、田人、川前地区では、受診しやすい環境をつくるため、「集団けんしんのバス送迎」を行っています。

また、今年度は、休日における「集団けんしん」を計9回、実施します。

次に、4つ目の重点プロジェクト「壮年期の健康づくり・健康経営の推進」についてです。

主な取組1の「ICTを活用した企業向け健康プログラム」の1つ目の事業である「健康づくりプログラム」につきましては、健康づくりのノウハウを有する民間企業が提供するプログラムを、市内企業の従業員等を対象に、生活習慣病の予防・改善や企業の健康経営の推進につなげることを目的に実施します。

具体的には、委託業者であるタニタヘルスリンクにより、3か月に渡り、運動プログラムや食習慣改善セミナーの受講などによる健康づくりを実施するもので、現在、実施中の事業となっております。

なお、こちらの事業が、先ほどの議事3(2)の「部会の開催結果」で説明いたしました、実施期間が長いことから課題がある事業であり、部会の委員のご意見やご提案を参考とさせていただき、令和7年度の事業内容については見直しを考えております。

次に、主な取組2の「ICTを活用した企業向け健康プログラム」の2つ目の事業である「生活習慣病予防プログラム」につきましては、1つ目の事業と同様に、生活習慣病の予防・改善や企業の健康経営の推進につなげることを目的に実施します。

具体的には、委託業者であるカゴメにより、1か月に渡り、野菜摂取を増やす取組みを行うとともに、減塩に関するセミナーを受講していただき、野菜摂取による高血圧予防を図るものです。プログラム実施前後に、尿検査から、推定食塩摂取量と推定カリウム摂取量を測定し、ナトリウムとカリウムの比率を算出します。日本人のナトカリ比の平均値は「4」であり、数値が低いほど高血圧リスクが低いとされています。

主な取組3の「アウトリーチ型健康講座」につきましては、運動や栄養等の専門講師を、企業等に派遣して「運動・ストレッチ講座」や「健康セミナー」を実施することにより、壮年期等の生活習慣病の予防・改善や企業の健康経営につなげることを目的に実施します。

具体的には、「運動・ストレッチ講座」として、肩こり・腰痛改善ストレッチなど全11種類、また、「健康セミナー」として、食生活改善・健康づくりセミナーなど全5種類を実施します。

次に、5つ目の重点プロジェクト「子ども・高齢者の健康づくりの推進」です。

主な取組1の「いわきっ子生活習慣病予防健診事業」につきましては、中学2年生を対象に、検査が必須とされている貧血検査と併せた血糖・脂質検査を実施し、その検査結果を踏まえた、学校カリキュラムと連携する健康授業を行うとともに、生活習慣の改善につなげるための、保護者及び生徒との個別健康相談等の取組みを一体的に実施することで、生活習慣病予防及び健康寿命の延伸を目指すものです。

令和2年度から昨年度まで、モデル事業として毎年度、学校を選定して実施してきましたが、今年度からは市内全中学校37校で実施しております。対象生徒は2,554名いましたが、採血検査を行った生徒数は、2,316名でした。

検査項目は、ヘモグロビンA1c、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロールの4項目で、1つでも予防指標範囲外となった生徒は849名で、割合では36.7%となっています。現在、健康授業、個別健康相談を実施中です。

次に、主な取組2の「シルバーリハビリ体操・つどいの場×健康教室等の開催」についてです。

シルバーリハビリ体操は、介護予防意識の醸成と、地域ぐるみで誰もが気軽に参加できる介護予防活動で、実施内容は、「腰痛・肩痛・転倒予防の体操」などとなっております。

今年度の上半期の活動状況は、申し込みが2,890回、参加者数は26,598名となっており、令和5年度と同数程度となっております。

つどいの場・健康教室は、地域の集会所等に自由参加で集まり、介護予防や仲間づくりを行う場であり、シルバーリハビリ体操やフラダンスなどの運動に加え、管理栄養士や薬剤師等の専門職による講話、歌やフラワーアレンジメントなど、様々な活動を実施しています。

今年度の上半期の活動状況は、371団体が活動し、6,152名が参加しています。団体数は令和5年度と、ほぼ同数ですが、参加者は、上半期で昨年度の参加者数とほぼ同数となっております。

今年度の5つの重点プロジェクトの進捗については、以上です。令和7年度につきましては、令和6年度の課題を改善し、反省を活かしながら、基本的には各取組みを継続し、実施して参りたいと考えております。

	<p>次に重点指標の進捗についてですが、まず、「健康いわき 21 (第三次)」におきましては、健康づくりを効率的に推進するため、第二次計画における評価の結果や、各種データ、及び国が作成している「健康日本 21 (第三次)」の内容を踏まえながら、本市の課題に応じた指標を設定しています。</p> <p>指標の中で、特に重視すべき指標を重点指標としており、毎年度、この「健康いわき推進会議」で、先ほどの重点プロジェクトと合わせ、進捗管理、事業評価を行うこととしております。</p> <p>なお、「健康いわき 21 (第三次)」の計画期間は、令和 6 年度から令和 17 年度までの 12 年間となっておりますが、重点指標の目標値の設定については、令和 14 年度としています。</p> <p>指標毎の進捗状況について、まず、1-1 の健康寿命・お達者度の延伸につきましては、計画策定時の令和 4 年度は、男性が 16.66 年、女性が 19.53 年であり、令和 14 年度の目標値は県平均値としています。現状値である令和 5 年度の数値は、福島県から今後、公表される予定となっております。</p> <p>次に、2-1 の食塩摂取量の現状値につきましては、男性が 9.3 g、女性が 8.8 g で、計画策定時よりも男女ともに 0.1 g ですが、減少しております。</p> <p>次に、2-2 の脳血管疾患、心疾患死亡率の現状値につきましては、それぞれ増加し、国・県の数値も同様に増加しています。しかし、増加率は、国県を上回っている状況です。</p> <p>次に、メタボ該当者及び予備軍該当者の現状値につきましては、計画策定時とほぼ横ばいとなっております。</p> <p>次に、喫煙率につきましては、福島県版健康データベース報告書の数字を引用していますが、現状値につきましては、まだ公表されておられません。</p> <p>最後に、健康経営に取り組む企業数の現状値につきましては、単年度での認定数は 32 社ですが、現時点での認定数といたしましては、71 社となっております。</p>
市長	<p>ただいま、事務局より説明がございました。</p> <p>ここから先は、皆様からご意見など伺ってまいりたいと思います。</p> <p>自由にご発言いただければと思いますので、どなたからでも結構ですので、自由に挙手をいただければと思います。</p>
A委員	<p>こちらに来るときに、車運転しながらラジオを聞いてきましたが、今年の若者世代とか子どもの肥満、また福島県多くなって、もう 6 年連続で肥満度全国 1 位というラジオ放送聞きながら来たんですね。ラジオでなので 30 何%って言ったのはちゃ</p>

	<p>んと聞き取れなくて、だけど、肥満の子減らないんだなって思いながら、ここに来て、子どもに対しての12ページあたり、子ども・高齢者健康づくりの推進ということで、今年からそうだよな、やるって言ってたんだよなあって。この生活予防対策についての。予防指標範囲外36.7%、何かしら引っかかっている人がそのぐらいいるというのを見ながら、やっぱり多いんだなと。どれかがって言うことはここには載ってはおりませんが、中性脂肪あたりが多いんでしょうか、それとも、というのを想像しながら聞いていたんですけども、現状高い。それで、健康授業をやったからすぐに良くなるものではないから、引き続き今後ともね、これを継続して行って、それで、あとその結果がどういう風に変わっていくか、それで実際にどういうことに注意して、そこに対しての何かアプローチっていうのがどんどん進んでいけたらいいのかなっていうのを、ちょっと説明も聞きながら思っていました。今後とも、この辺を壮年期を含めて、重点的にやる。今年、コロナ禍よりも本当にいろんなことが進んでいっている年なのかなって思うんですけども、更なる、いろんなところで、いろんなイベントとかいろいろひねり出しながら、いろんな人たちにアプローチができれば良いんだらうなって思います。</p> <p>あと、ちょっとお聞きしたいのは、壮年期の健康づくり、取り組み。企業さんとの取り組みで、主な取組1、2、3とありますけどね。今、実施中ですよっていうお話でしたけども、どのぐらいの企業さんに今年はやっているのか、ちょっと、実際の何か数値とか、ちょっと教えていただけたら良いかなと思いました。</p> <p>以上です。最初なので。</p>
市長	<p>ありがとうございます。そうしましたら、ご意見2つあった中の2つ目の質問にありました企業数って出てきますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今、A委員からご質問いただきました、資料で言いますと11ページの壮年期の健康づくり、健康経営の推進のそれぞれのプログラムの参加者、参加企業数についてですが、まず、主な取組1のタニタヘルスリンクの事業につきましては、こちら市内2社、2社合計で約40名の方々に参加していただきます。</p> <p>それから2つ目の、委託先がカゴメの事業になりますが、こちらも市内の2社で、同じく約40名の従業員の方が参加予定となっております。</p>

	<p>それから3つ目のヘルスケア講座でございますが、こちらは会社数でいいますと6社になりまして、1社で2つの講座を受けるところもございますので、6社ですが、延べ数でいいますと10社になります。</p> <p>こちらも、これから実施する事業所もございますので、従業員の方向名というところはまだ出ておりませんが、これまで実施した状況を見ますと、1社あたりだいたい10人から20人の参加というところが、これまでの実数となっております。</p> <p>以上です。</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。</p>
A委員	<p>健康づくり、健康経営に取り組んでいる会社さんが今32社ぐらいあると言っていましたけども、きっとその辺のところに「どうですか」ということで、問い合わせしてやってくださっていると思うんですけども。長く見て、いろんな企業さんのところに入って、健康づくりの活動が進むことを願います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他の委員の皆様からご質問ご意見ございますでしょうか。</p>
B委員	<p>今、ご説明聞いてですね、大変よく頑張っていると思います。その中で一番どういうふうに示したらいいのかっていうのを考えているんですけど、数字が、資料、市民がどう読むか、子どもがどう見るか、学生がどう見るか。ワースト1位だとか、なかなか改善しないというのが強調されている言葉があったときに、お聞きしていると、一部改善しているところがあると。マルで示したり三角で示したり、いろいろされているので、気持ちとしては、良くやっていて、1年でそんなに大きな変化はないと思うんですけど、良い兆しが見えてるとか、こういうところが変わってきているというような、そういう何か示し方もあるとですね、何かより頑張る意欲が湧くんじゃないかなというか。すごく熱心に幅広くされて、分析もしっかりされていて、そういう意味で、市民に向けて何か発信するときの、何かモチベーションの持たせ方でしょうか。それがちょっとお聞きしてみたいと思いました。</p>
市長	<p>はい。ありがとうございます。本当に見せ方の問題だと思うんですけども、おっしゃるとおりですね、一部改善されているものもあるので、矢印とか矢印が伸びている姿とか横ばいと</p>

	<p>かですね、それは対外的にお示しするときに、工夫して参りたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>他の委員の方、おられますでしょうか。</p>
C委員	<p>先ほどタニタさんのほうで、健康づくりプログラムが3か月は長いので、検討しなくてはいけないっていうお話だったんですけども、食事療法とかをやって結果を出すためにはやはり3か月は必要だっていう認識だったんですけども、何か他にもっと短期間で何か結果に結びつけられるようなプログラムっていうのは何か候補とかはあるのでしょうか。</p>
市長	<p>今のプログラムの期間についてのご質問ですけども、事務局からございますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今タニタさんのほうの事業が3か月ということでご説明させていただいたんですが、例えばその隣のですね、カゴメのほうの事業については、1か月でのプログラムになってございます。こちらのほうが基本は食事です。野菜を多く摂って、食塩の摂取量を減らして、あとは運動をしていくという内容のプログラムになってございます。</p> <p>その他、7年度につきましては、これまで市のほうで実施しておりました、血中の糖の濃度などを24時間測定して、1か月、やはり食事とあとは運動を合わせた事業というところを考えてございます。</p> <p>期間が長くなりますと、その分やはり対象者数というのが大分減ってきてしまいますので、先ほどちょっとお話をさせていただきましたが3か月の事業を一つ減らしまして、短期間でできる事業に転換いたしまして、ちょっとなるべく多くの方、多くの事業所に参加できるような形でできればなというところで考えてございます。</p>
C委員	<p>ありがとうございました。</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。他の委員の皆様ございますでしょうか。</p>
D委員	<p>私、今、学校のほうに勤めていますので、学校のほうからいうと、健康教育、ヘルスプロモーションで、健康のことは県でずっとやっていたんです。コロナとかいろいろあったり、震災があったり、コロナがあったりなんかして、県のほうでもなか</p>

なかそういう推進ができなくなってきた、先ほど肥満の話が出たと思うんですけど、見返りが遅くなったんじゃないかなというふうに思うんです。

やっぱりこれ10年間計画ですよ。子どもは10年間、例えば中学校3年生が13歳で23歳になって、子どもに対し、それでやっていると思うんです。そこに親がいるんです。

親の年齢層っていうのは、だいたい小学校から見れば20代から40代までいるので、10年後っていうふうに考えれば、40代の方が50代になっていきますので、そうなるのと、今の子どもたちから、教育からどういうふうに大人を、意識を変えていくかっていうことの考え方がここにないと、一生懸命やられているのはわかるんですけども、繋がっていかないんじゃないかという。その時その時をやっているの。もっとう、先ほどB委員からお話あったように、長期的に考えたときに、10年後のいわき市を想像したときに、やっぱり子どもたち、教育から変えていくっていう方向も一つですね。全てじゃないと思うんですけども。そういうふうな考え方を教育委員会なんかと連携して、学校から変えていくっていうのも一つの方法じゃないかなと思います、聞いていて。おそらく、ここが一番、難しいところなんだろうなと思いつつも、そんなこと考えました。

あと体育協会の立場でいくとですね、実はいろいろ今、お年寄りの方々がスポーツをやられています。一番人気があるのがグラウンドゴルフっていうスポーツなんです。だいたい600人ぐらいいらっしゃるんですかね。その大会にいつも呼ばれて、ご挨拶をしているんですけども、元気なんです。すごく元気なんです、おじいちゃんおばあちゃんが。そういう姿を見て、そういえば、先ほどシルバーリハビリ体操ってありましたよね。ああいう体操を公民館とかいろんなとこじゃなくても、そういう我々がやっているような体育の大会の前あたりに、そういうふうな体操をみんなでやりましょうみたいなことをやって、これからも広めていくとかですね。色んな方法が今後あるのかなと思うので、ぜひ、スポーツ振興課のほうにもお話をいただいたりとか、そういうような連携をしていただければ、我々のほうでも普及できるのかなと思いつつも。

すみません、まとまらなくて。ありがとうございました。

市長

1つ目の教育のほうは、中学校2年生全体が対象にある、いわきっ子生活習慣病予防健診事業の中で、保護者への健康の周知や、お子さんの状態はこうですよということをお伝えしたり

	<p>しています。確かにおっしゃるとおり中2の段階で、早い段階でそうやって意識を持つのはいいことなんです。その後とかその前とかどこかで繋がるようなタイミングとかあったらいいのかなと思いました。</p> <p>シルバーリハビリ体操は、どこでもできるので、グランドゴルフの場でもできないことじゃないかなと思ったんですけど、それについて何か事務局からありますか。今までの取り組みとか、今後のこととか。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>まず1つ目の子どもの健康のところなんですけども、いわきっ子生活習慣病予防の事業のほうで、令和2年度から実施しまして、今年度から市内のすべての中学校で実施することといたしました。</p> <p>まず血液検査をして、検査の結果、指標を超えた生徒に関しましては、生徒だけではなくて、保護者の方にも、一緒に来ていただきまして、市の保健師が指標、結果を見ながら、生活のリズムとかについてお話をするような形をとっております。</p> <p>それは生徒さんの健康そのものも、もちろん目的なんですけども、やはり保護者の方も壮年期ということで、健康の課題となっている世代でありますので、お子さんの指導をするとともに、壮年期の方の指導についても、家族みんなで健康を考えていただくような流れの指導をしているところでございます。</p> <p>ご質問があったとおり、中学を卒業した後、高校、大学になっても、そういった生活のリズムといいますか、規則正しい生活とか、健康に気をつけていただくような啓発に繋がるような指導のほうを、今後も心がけていきたいと考えております。</p> <p>もう1つがシルバーリハビリ体操の活動の場も、拡張ですけども、お話いただいたとおり、スポーツ振興課さんとも連携しながら活動の場のほう、どんどん広げていきたいと思っています。ご意見ありがとうございます。</p>
事務局	
市長	<p>はい。他の委員の方、ございますでしょうか。</p>
E委員	<p>データの読み方について一応確認させていただきたいんですけど、その13ページの本市の健康づくり事業について、進捗状況ということですが、この健康寿命の延伸とか、健康格差の縮小の黒字の16.66年とかっていうのは、いわき市のデータとってよろしいでしょうか。</p>

事務局	はい。いわき市のデータになります。
E委員	その下の食塩摂取量とか、脳血管死亡率、心疾患、これも全部いわき市のデータですか。
事務局	そうです。いわき市のデータになります。
E委員	はい。ありがとうございます。これを見ると、要は、健康寿命の延伸はまだデータが出てないと。食塩摂取量はちょっと下がっているのか、あまり変わらないのか。脳血管死亡率、心疾患死亡率、メタボリック該当者は悪化しているというふうに読んでよろしいでしょうか。
事務局	はい。悪化、上昇している傾向です。下の、一番上の太字が市の数字になっておりまして、2番が国、それから一番下が県の数字になってございまして、いずれも悪化している状況になっています。
E委員	<p>私、脳外科医なもんですから脳血管死亡率は、この10万人あたりって年齢構成を考えないと、簡単にターゲットは比較できない。要するに、いわき市は高齢者が多くて、高齢者が多ければ脳卒中なる方も多いし死亡率も高いので、全国平均と単純に比較するわけにはいかないです。ですから、88.1が153とべらぼうに高いんですけど、これをもっていわき市がってはいえないんですけど、心配なのはやっぱり上がっているっていうのが、心配です。10年のスパンで長く見るということなので、1年ほどで一喜一憂する必要はないのかもしれませんが、今回、塩分のほうは随分頑張っていたらいいんですけど、このデータを見ると、それだけでは十分ではないんじゃないかなっていうふうに考えるべきかと思います。</p> <p>特に、先ほどA委員からありました子どもの肥満っていうのはすごく大事なことだと思います。子どもの頃からの食生活が十分に、先ほどD委員からお話ありましたように、子どもの頃からの食生活の教育が十分に行き渡っていないんじゃないのか。</p> <p>最近はですね、このひとしおプロジェクト、すごく私いいなと思っていますが、このくらいの塩分でこのくらいの健康的な食事ができるってことを街中で教えていただけると非常にありがたいんですけど、それと同じことを、糖分と中性脂肪とお酒でもやってもらいたいと思います。特に、やっぱり脳卒中っ</p>

	<p>て、高血圧と糖尿病とたばこなんですけど、今、糖分を下げる食事って、例えばチョコレートにしても、ビスケットにしても売っているんです。糖分を使わないお菓子とかで。ただ、こういうものはこうすると糖分とらなくて済みますよとか、今日も患者さんが全然血糖値が高くて下がらないと、何でだろう、全然甘いもの摂ってないんだけどと言っているんですけど、聞くとはですね、晩ご飯食べた後にせんべいを1袋食べていると。せんべいは甘くないから糖分じゃないと思ったと。やっぱりそこら辺も、しっかり何とか市のほうで広報していただいて、塩分はこの方向でいいということは本当に私、非常に確信しましたので、ぜひ他の糖分と中性脂肪とお酒についても、このような基準を作りながら広報していただけると、総合的にいいんじゃないかなと思います。</p>
市長	<p>ご意見をいただきましたので、今後検討させていただければと思います。ありがとうございます。 他の委員の先生方、お願いいたします。</p>
F 委員	<p>まず、教えていただきたいのが、この事業全体の予算っていうのがどれくらいなのかなっていうのを教えていただきたいのと、あと資料13ページのところですけど、去年も言ったような気がするんですけど、私の感覚なんですけど、食塩の摂取量って、他の県よりも多っていうことは、多分美味しい食事を摂っているのではないかなっていうのがまずあってですね。ひとしおの日とかですね、この辺の美味しさってどうなのかなっていうところもあって。例えば7ページの平中央公園でやった喰酒祭。ここでひとしおのメニューがどの程度、他の美味しい料理と比べて売っていたのかっていうのをデータとして聞いてみたいですし、例えば、その、市役所さんであると、月1回ひとしおの日ってやっているんですけど、例えば毎日365日やったときに、職員のみなさん耐えられるのかっていうところも、ちょっと聞いてみたいというところもありますし、あと、小・中学校の献立で塩こうじスープもやられているんですけど、私、小学校6年生の子どもがいて、いただいたときにこれ知ってる？って言ったら、全く記憶にないというか。後から献立見せたら、塩こうじ苦手なんでっていう答えを聞きますね。好みはあると思うんですけど、そういうところは、例えば学校でやるのであれば、これを1か月ですね、連続でやった時に子どもたちの反応はどうなのかというところを、ぜひですね、ちょっとやってみていただきたいなというところもありま</p>

	<p>す。</p> <p>あとやっぱり、基本的にその情報発信というのはやはりあまりされてないかなというところもありまして、PTA のほうで何かこう、講演会とかそういったところでやりたいなというふうに思っておりますので、ぜひその辺は情報提供とかいただければというふうに思います。ちょっと先ほどの質問だけいただければなと思います。</p>
市長	<p>予算の関係などわかりますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ちょっとすみません、予算書が手元にはないのでおよその委託金額でのお伝えになってしまいますが、まず7ページのいわきひとしお関連の予算になりますが、約400万円となっております。それから8ページの3つの事業の合計が約2,300万。それから、11ページにちょっと飛びますが、11ページの壮年期の健康づくり健康経営の推進の3つの事業が、合計で約500万ぐらいだと思います。それから12ページのいわきっ子につきましては、約600万ぐらいだったと記憶しています。</p>
市長	<p>あとご質問にありました、ひとしおメニューの美味しさとか、通常のメニューと比べてどうだとか、その辺のデータとかは難しいと思うんですけども、感覚的なものになってしまうかもしれませんが、私も何度かいただいていますけど、非常に通常のメニューと比べて全然、減塩ということを感じさせないものだった印象がございます。</p> <p>何かございますか。はい、どうぞ。</p>
事務局	<p>まず喰酒祭についてご説明いたします。イベントで販売したものについてなんですけれども、こちら2日間で、から揚げを200食、それからスープ100食完売いたしました。12時ごろからの販売でしたが、いずれの日も3時間ほどですべて売り切れまして、美味しいメニューがたくさん出ているイベントではありましたが、皆さんにまずは食べていただける機会としてできたこととそれから、実際にその料理を召し上がった後に美味しかったと、わざわざ伝えに戻ってきてくださった方なんかもいらしたので、塩分を減らしても美味しく食べられるんだっていうのを知っていただけた機会になったかなというところと、やはり私たちひとしおLabで開発するレシピに関しては、やっぱり塩分減らすと美味しくないと感ずるんだなっていうことを感じて、続</p>

	<p>かない、我慢する原因にならないように、減塩の調味料ですか、そういったものを上手に取り入れながら、薄味でなくて、美味しく食べられるものを心がけて、開発しています。</p> <p>それから8階の食堂に関してですが、ひとしおの日、17日に合わせて毎月提供していただいています、実は食堂側のオーナーさんの理解と協力もありまして、いつも出している定食のお味噌汁については、もうここ1年ほどすでに塩分量をかなり減らして提供していただいたりですとか、あと周知はしていませんが、食堂のほうでも減塩のメニューを臨時で提供されている時もありますので、こういった形でなるべく恒常的に提供ができるような、意識している方ももちろんなんですけれども、ふらっと立ち寄った職員ですとか市民の方も、知らず知らずのうちに塩分を下げても気づかずに食べられるようなレシピを今後も、提供していつてもらえたらなというふうに考えております。</p>
市長	<p>はい。F委員よろしいでしょうか。ありがとうございます。PTAとの連携が非常に大事だと思います。</p> <p>D委員どうぞ。</p>
D委員	<p>私、毎日学校給食を食べています。給食って、実は塩分が毎日献立表の中に必ず書いてあるんです。今日の塩分はっていうことで。だいたいカロリーが800キロカロリーぐらいなんですけども、塩分はだいたい2.1グラムから2、3グラムまではないです。美味しくないです、はっきり言って。最初の頃ですね、最初の頃、本当に薄味で、本当食べるの、毎日これ子どもたち食べているので、大したものだなと思って。でもやっぱり食べていると、だんだん慣れてくるんでしょうね。食べていると、これはちょっとしょっぱいなと献立表見ると、2.8グラムとか2.9グラムぐらいあるんですよ。</p> <p>あとこの間、美味しい給食が出ました。これはやっぱり和食ですね。和食のだしを使って塩分控えるっていう、これは絶品だった。給食でここまで考えているのかという。学校給食って結構減塩しているの、そのようなことも参考にされるといいかななんて思います。子どもたちは結構、減塩には慣れていません。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>G委員お願いします。</p>

G委員	<p>私もちよっと高血圧で、減塩ということは意識はしているんですけども。今までの話とかプロジェクトをお伺いして、やはり外で食事をする時っていうのは、かなりその業者さんですとかレストランですとか、いろいろとこう気を遣って、減塩傾向ということ、食べるが多いかと思うんですよ。実際に家庭の中で、お母さんが料理するような減塩に繋がっているかとか、あるいはいつも大好きなおかずが一品増えると、一品がちょっと減塩にはあまり向いてないものだったりっていう、なんかその家庭料理と、ちょっと外で提供される料理、給食も含めてですけども、その辺のところの違いとかがどういうふうに入っているのかっていうのは、ちょっと気になったところですけど。</p>
市長	<p>家庭料理との違いとかそういうのは何か調べていますか。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。家庭料理での塩分と、また外食の時の塩分の違い、具体的な重さで、数字で、その差っていうのはちょっとまだ把握はできていないところでございます。</p> <p>ひとしおプロジェクトで、ひとしおの減塩の食品を食べていただいて、まずその減塩というものが、必ずしも美味しくないのでないっていう感覚を皆さんに分かっていただいて、家庭でお料理を作るときに、ちょっと、気持ち、塩を少なくしようとか、あるいは減塩の醤油とか、そういったものを使ってみようとか、醤油をかけるのではなくつけることをやってみるとか。まずはその動機づけとございますか、減塩食を普及することによりまして、減塩の意識を皆さんに持っていただいて、ご家庭で料理を作るときに、少しずつ塩を減らしていただくような、そういったところを目指せばいいかなと考えております。</p>
市長	<p>あと広報いわきでも、家庭でつくれる減塩メニューを特集で紹介したりしていますので、お家でもこういうのを作れますよみたいな、そういうところから始めてみるといいですね。</p> <p>よろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。</p>
A委員	<p>今の家庭と外食料理のお話があったので、1点、手軽に料理を作ろうと思うと、ついつい油使ったものって簡単に作りやすいものですから、やっちゃうんですけども、それをできるだけ減らしましょうということで、保健所の栄養士さんと相談して、減塩しても美味しい食事の普及、それからその食べ方の工</p>

	<p>夫の普及、それから、コレステロール、油を少なくしても美味しく作れるんだよってというものの啓発活動などを、調理実習等を通してやってるんですね。</p> <p>それで、私事ながら健康推進員になって20何年経ちますけれども、まずは外食で1食、食べ切ることが出来なくなっている。というのは、初めは美味しいなと思っても、しょっぱくて嫌になっちゃう。ただし、これを食べてしまう連れがいたりすると、「やっぱりまだ駄目ね」っていうことを言うんですけど、その食事に慣れるっていうことがすごく大事なんだと思うんです。それこそ、最近行ったところでは、保育園で料理教室をやってくれないかって、手軽にできるようになって。それから小学校、中学校、高校とやはり依頼されて行くことがあります。</p> <p>そういう時には、特に低学年とか、小さいお子さんのところでやるときにはもちろん、保育所さんなりに、ぜひご家庭に今日作ったもののレシピとかを、保護者さんにお知らせくださいと保育園さんをお願いしていますし、それに中学校、高校とかには、お家に帰って、今日これ作ったよって、もしできるところ、1つでもいいから、お家でお母さんたちに作って食べさせてあげてっていうことを伝えるようにしています。なので、そういう活動がもっとももっと増えていけたらいいかなって思います。それから、保健所や、地区センターでのイベントのお手伝いをするとき、ソルセイブのお手伝いをすることもあります。ソルセイブは塩味チェックのシートですけども、塩味が入っているのですが、やっぱり感じない方がいらっしゃいます。それは、しょっぱいものに慣れている方はわかりにくいです。なので、そういうものを使いながら、ちょっと食べるものを注意する啓発活動の一つを担っていきたいかなって考えております。</p>
市長	<p>どうもありがとうございました。他にまだ発言されていない委員の皆様、何人かおられますけど、いかがでしょうか。</p> <p>H委員いかがでしょうか。</p>
H委員	<p>はい。特にこれとって、質問とかではないのですが。これからもこの壮大なプロジェクトといいますか、10年かけたいろいろな内容、青年、壮年、高齢期、あとは学校側から企業側から、スポーツの面からいろいろな内容を盛り込んでいくことをしっかり踏まえて、一つずつ積み上げなくてはいけないと思っておりますが、コロナが明けて、いろいろなイベントとかセミナーとかが、普通に開催されるようになってきていると思います。こ</p>

	<p>これは、大変すごい良いことだと思うのですが、私もちょっと窓口で患者さんとか、薬局利用者とか、相談する方とお話して感じるのが、前に戻っているだけなんですけど、そういういろいろなことが、いろいろな企業、いろいろな団体がやりすぎていて、混乱してわからないと。あとから人に聞いて、いわき市さんがこういうのをやっていたんだよっていう、あとで聞いた、行けばよかったとか、あとちょっと遠くて行けなかったとかいろいろな話は聞くので、なるべくイベントごととか、いわき市さんが主導になってやっていくと思うんです。これだけのプロジェクトなので、大変な思いをして、皆さん苦勞して積み上げているとは思いますが、そういう計画立てたところを、なるべく早め早めに周知していただいたり、あと我々、一般の方が出入りするようなところにも広報しやすくしていただけるとありがたいなと思って。希望でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>どうもありがとうございました。そういうわかりやすい広報、伝わらなければ広報としては機能を果たしてないことと一緒に、しっかりわかりやすく伝えていきたいなと思っております。</p>
<p>I 委員</p>	<p>他の委員の皆様。では、I 委員お願いします。</p> <p>はい。シルバーリハビリ体操のお話の中にもありましたように、やはり骨折予防というような形で、9月8日（日）に総合保健福祉センターで市民フォーラムをやっていただいたんですね、相沢先生、医療センターの院長先生にお話していただいたんですけど、超満員の状況で、みんなが非常に関心を持って、それぞれに帰られた。だから、非常に、あの関心を持つということが、やはりこういった健康づくりには、密接に繋がっていくんだらうと。今の話にもあったように、身近なところで、自宅、そういうところに留まってしまって、外部との接触を持たない、出かけない、そういうのが、非常に後々にいろいろな病気を引き起こし、認知症などの発症に繋がっていくようなことが考えられますので、ここに参加されている方たちの団体も含めて、皆でいろいろな啓発活動にさらに力を入れていく必要があるんじゃないかなと。</p> <p>社会福祉協議会としてもですね、やはり身近なところで、隣近所で、住民が支え合う体制、そういったものを作ろうとして、今、様々な働きかけをしているのですが、やはりそういう、みんな話し合う機会に多くの方に参加していただけるような、そういう体制づくりを今後とも進めていくことが、いわきの健</p>

	<p>康づくりにも大いに関わってくるんじゃないかなと、そんなふうに思ったので、これからも取り組みに力を入れていきたいというふうに思ったところでもあります。</p> <p>どうもありがとうございました。どこの組織も共通のことだと思います。ありがとうございます。啓発で人を呼び込んでいく、関心を持ってもらうというですね。動いてもらい考えてもらうこと自体が、非常に意義があったなってことを感じました。</p> <p>残りが、あと3、4分になってしまったのですが、まだ発言されてない委員の方おられると思うんですけども、すみません、時間が大分押し迫ってしましまして。</p> <p>J委員、いかがでしょうか。</p>
<p>市長</p> <p>J委員</p>	<p>はい。ありがとうございます。素晴らしい取り組みですので。私、先日の学会で福島県に住んでいるだけで不健康である、特にいわき市は不健康であるとはっきり言われました。それも含めて、ただ我々は恥ずかしいと思わない。やりがいがあるんだという思いで堂々とその場でそういう言い返しをしてきました。</p> <p>これを継続していただきたい。どうか市長継続していただきたい。その中で減塩っていうのは今後にとって非常に重要なこととなります。身近なところに減塩のレシピは我々医療機関にも山ほどありますが、何が美味しいのかわからない。今回、市が参加するような何百食も売るようなものがあるんだっただけですね、ぜひそういうものに対するレポートを回収して欲しい。お弁当を売ったり、おかずを売った時に、カードを入れておいて、美味しいと思ったか、これで味がちゃんとしているのかっていうことを回収して、ぜひ次回の時には、こういうことやった時に、その何%が美味しいって言ったのかっていうものがあれば、我々は堂々と、そういったことを今後、患者さんに対して提示できるんですね。ぜひ、なんか作りっ放しのような減塩レシピが多くて勧められないので、ぜひ、市がやる時にはそういうことをやっていただきたい。あともう1つですね、ここに出ている教育、がん教育があるんですけども、チャンネルが2つあるようですね。</p> <p>我々Tobacco-free ふくしまで、この倍ほどの教育をやってるんです。結局、この教育と全く同じ教材を使ってやっているの、ぜひそれと統合した形で、評価していただきたい。そうすると、もうこの倍以上3倍ぐらいの数が、市内で、小中学校で</p>

	<p>やられていますので。何かチャンネル別になってしまうという ような。統合していただければ。ぜひお願いします。</p> <p>またナッジ理論、ちょっとつついてですね、気づきながら 我々医療っていうのはすごく病気の人に厳しく叱ってしまう ところがあるんですけども、叱ることなく、気づくところから スタートさせるっていうのは自治体のあり方として、非常にあり がたいと思っていますので、どうか継続的にお願いしたいと 思います。</p>
市長	<p>はい、ありがとうございました。いろいろフィードバックの ほうは大丈夫ですよ。いろんな市の食堂を含め、食べていた だいたところアンケートなんかとりまして、またフィードバッ クできればいいなと思います。</p> <p>あと、Tobacco-free ふくしまの件も、行政だとどうしても縦 割りになりがちで、所掌していないと思ってなかったりする ところがあったので、そのあたり今後気をつけていきたいと思 います。</p> <p>皆様からいただいたご意見を今後、市の健康づくり政策の参 考にさせていただければと思います。</p> <p>以上をもちまして本日の議事を終了いたします。活発な議論 を本当にありがとうございました。</p> <p>議長の任を解かせていただきまして、司会のほうに戻したい と思います。</p>
司会	<p>それでは、その他になりますが、事務局から何かございます でしょうか。</p>
事務局	<p>はい。事務局のほうから1点だけございます。</p> <p>健康いわき推進会議委員の委嘱についてでございます。本推 進委員会の委員の皆様方の任期につきましては、いわき市共に 創る健康づくり推進条例によりまして、2年間とされてござい ます。</p> <p>現在、皆様方の任期につきましては、令和7年3月31日ま でとなっております。</p> <p>つきましては、令和7年4月1日からの委員の就任につきま しての手続き関係については、来年の3月頃に、皆様方が所属 する団体様宛に依頼させていただきたいと考えておりますの で、よろしく願いいたします。以上でございます。</p>
司会	<p>ただいまの内容につきまして何か質問等ございますでしょ</p>

	うか。 なければ、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。 本日は誠にありがとうございました。
--	--

本議事録に相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和 7 年 月 日

議事録署名人

⑩

議事録署名人

⑩